KISC 11

2023
November

Kagoshima Industry Support Center

藤安醸造株式会社
代表取締役社長　藤安　健志 さん

今号の表紙

「第66回ジャパン・フード・セレクション」
グランプリ『休左衛門亭』だし醤油・煎り酒

藤安醸造株式会社

代表取締役社長　藤安　健志

＜企業概要＞

所在地	鹿児島市谷山港2-1-10
設立	1870年11月（明治3年）
従業員数	54名
事業内容	調味料（味噌・醤油・たれ類他）の製造及び販売
TEL	099-261-5151
FAX	099-262-1357
URL	https://www.hishiku.co.jp/
E-mail	horebore@hishiku.co.jp

今号の表紙は、「ヒシク」の商標で調味料（味噌・醤油・たれ類他）の製造販売を行っている藤安醸造株式会社で、今年９月に代表取締役社長に就任した藤安健志さんです。

同社の創業は1870年（明治３年）、2020年に創業150年を迎え、創業以来鹿児島の温暖な気候や風土に合わせた鹿児島特有の甘口の調味料を製造しています。

現在は、約20種類100アイテムを超える醤油、約10種類の味噌、食酢等の各種調味料や塩麹等を製造しており、家庭用から飲食店・ホテル・産業給食（病院、学校、企業等）・食品加工業等の業務用まで、幅広い商品ラインナップを取り揃えています。

また、鹿児島の甘い醤油を製造するのに欠かせないアミノ酸液を、自社内の工場で製造しているのも強みとなっています。

同社はこれを活用して、食の多様化に対応したオリジナリティにあふれる商品を開発しています。

◇県内の素材にこだわった商品づくり

主力商品の“おそらく日本で一番甘い醤油”『極あまくち 専醤』は、お客様から「県外からいただいた醤油が辛くて使いづらい、どうすればよいか」との相談を受けたのがきっかけで開発した商品です。

辛口醤油とブレンドして甘さを調整できるように開発した究極の甘口醤油ですが、ブレンドせずそのまま使用する人がほとんどで、現在では一番の売れ筋商品になっています。

この開発をきっかけに、地域の味覚に合わせた、鹿児島の人たちに愛される商品づくりを目指すべきだとの思いを新たにし、県内の素材を使った商品開発にも積極的に取り組んでいます。

2017年には、鹿児島県産の原料にこだわった高級調味料の新ブランド「休左衛門亭」を立ち上げました。

コンセプトには、「調味料を手土産に」を掲げ、鹿児島の甘口醤油に枕崎産かつお節エキスを配合した『だし醤油』、枕崎産かつお節エキスと薩摩郡さつま町の南高梅をブレンドした『煎り酒』、そして、鹿児島県産黒砂糖と福山町の黒酢に曽於市のゆずをふんだんに取り入れた、ゆずの爽やかな風味の『ぽん酢』の３商品を、「休左衛門亭」のブランド名でオンラインショップと観光施設の「仙厳園」他で限定販売しています。

この『だし醤油』と『煎り酒』は、今年８月の日本フードアナリスト協会主催による「第66回ジャパン・フード・セレクション」でグランプリを受賞する他、同社の製品は、全国の味噌鑑評会等で高い評価を得ています。

同社は、経営理念の「味に活かします まごころと技術」の下に、先人から受け継がれた熟練の技術と味へのこだわりを活かした製品づくりを続けています。

◇今後の取組

「進学や就職で鹿児島を離れて、改めて鹿児島の魅力を再発見しました。鹿児島は魅力あふれた地域で、その中で私たちができることは地元の味を伝えることです。鹿児島の食に携わるメーカーとして、鹿児島の味を一人でも多くの方に知っていただきたいと思っています。その土地の魅力は訪れないとわかりませんが、味は、その商品や商品を使った料理を味わうことで知ってもらうことはできます。地域を超えて県内外・海外、一人でも多くの方に鹿児島の味を知ってもらいたいです。

150年続いてきた会社を200年へと引き継いでいけるよう、地域に必要とされる企業であり続けることを目指します。」と藤安社長は語っています。

【1997年５月KISC会員加入】

CONTENTS

2　今号の表紙
3　私の思い
4　よろず支援拠点支援事例
5　プロフェッショナル人材戦略拠点
6　取引振興コーナー
7　わが社の輝く女性　株式会社中川製作所　樋脇工場　田畑さとみ さん
8　応援します！中小企業の経営革新
10　特集　令和４年度主要事業の支援事例紹介
13　特集　食品関連製造業「カイゼン」活動強化支援事業　支援事例紹介
14　会員企業ＰＲコーナー
16　広告

私の思い

鹿児島県副知事
大塚　大輔

鳥取県出身。
平成８年　京都大学経済学部卒業後、
自治省（現総務省）入省。
宮城県総務部長、総務省地域政策課企画官、国土交通省大臣官房参事官（航空戦略担当）、
地方公共団体金融機構資金部長を歴任。
令和５年７月より現職。

中小企業等の「稼ぐ力」の向上を目指して

中小企業等の皆様には、県政の推進につきまして、かねてから格別の御理解、御協力を賜りますとともに、本県の商工業の振興に貢献していただいておりますことに対し、心から感謝申し上げます。

副知事に就任してから４ヶ月経ちましたが、本県が有する３つの世界遺産や、世界に誇れる食や優れた県産品の数々のほか、歴史や文化など、魅力的な地域資源が豊富にあることを強く実感しております。

就任以来これまで、商工政策担当の副知事として、株式上場を目指す企業を対象としたセミナーに参加して意見交換を行うなど、企業の生の声を直接聞く機会を極力設けてきました。

県では、これまでコロナ禍の影響が拡大するなか、コロナ対策を最優先に取り組んできました。アフターコロナ期に入った今､県民の皆様の安心･安全は確保した上で、業務のオンライン化や無人化・省人化など、コロナ禍で得られた成果や教訓を上手に活用し、各般の経済活性化施策を積極的に展開していく時期だと認識しております。

さて、本県の経済情勢は、本格的な人口の減少や経済のグローバル化、技術革新の急速な進展など、大きな変革期の中にあります。

こうした中、本県産業が中長期的に持続して発展していくためには、まずは、生産性と付加価値の向上による産業競争力の強化を図ることが重要です。

県では、今後も引き続き、高い技術力や成長性を有し地域経済を牽引する中核企業や、基幹産業である農林水産業や観光業への波及効果が高い食品関連製造業の生産性向上の取組等を支援してまいります。

また、新たな産業を創出し、本県経済の発展の基盤を整備していくことも重要であると考えており、スタートアップの創出・育成に向けて、ビジネスプランコンテストの実施、事業化に向けた実証事業への支援、研究開発や設備投資等への支援などに取り組んでいきたいと考えております。

現在、県内中小企業は、原油・原材料価格の高騰等の影響を受けて、売り上げの減少や生産コストの上昇など厳しい経営環境にあります。こうした中、中小企業の収益力の改善を図り、足腰の強い経営基盤を構築していくため、資金繰りや生産性の向上等の経営課題に応じた効果的な金融支援や経営支援等に取り組んでいきたいと考えております。

昨今、全国的に深刻化しつつある人材不足への対応については、若年者の県内就職、UIターン就職の促進等に取り組むとともに、地域経済を支える貴重な人材として、ベトナムを中心に外国人材の受入れ等に積極的に取り組むことで、本県産業を支える人材の確保・育成に努めてまいりたいと考えております。

こうした取組を通じて、「稼ぐ力」をより引き出し、地域経済の好循環を高め、本県の持続的発展につなげていきたいと考えております。

これからも、本県中小企業支援の拠点である公益財団法人かごしま産業支援センターと密接に連携しながら、中小企業の皆様の様々な事業展開への支援を通じて、皆様の御発展はもとより、本県経済の発展や雇用創出につなげていきたいと考えております。

今後とも、同センターや各種事業の積極的な御活用をお願い申し上げます。

終わりに、皆様方の御発展・御活躍を心よりお祈りいたします。

よろず支援拠点支援事例

見せ方と伝え方を変える 売上を生む再定義＝ 新生「和牛の道の駅」

売上拡大

有限会社福永畜産
ゆうげんがいしゃ ふくながちくさん

代表者
福永 充（ふくなが　みつる）

0996-59-8911
〒895-2104 鹿児島県薩摩郡さつま町柏原1572
https://satuma-fukunaga.shopinfo.jp/

□事業者様概要

昭和31年創業。良質な系統和牛生産に取り組み、三代目の就任を機に、平成12年に有限会社福永畜産を設立。鹿児島県さつま町の豊かな大地で、約1800頭の黒毛和牛を生産・肥育・繁殖、出荷・加工販売まで一貫して行う。自社ブランド「さつま福永牛」は、数々の受賞歴を誇る。平成24年、直営焼肉ダイニングを市内で展開。令和２年、事務所での精肉販売、通信販売事業を開始。地元に根付いた「至福の黒毛和牛」の安定供給に取り組む。

1 現状　始まりは事務所内にある「売り場」の販売促進改善から

同社は令和２年、畜産の現場とは別の場所にある事務所内で、自社ブランドの精肉および加工商品の販売を開始し、事務所兼店舗としての運営体制となった。相談者は、事務業務に加え、見よう見まねでデザインソフトを使い、売り場でのディスプレイや販売促進のPOPなどを自作し、試行錯誤を重ねていた。しかし、デザインのプロではないため、見せ方・伝え方に課題を感じ、当拠点が実施する月１回の定期相談会で相談した。

▲鹿児島県産黒毛和牛ブランド「さつま福永牛」

2 課題　部分課題の見直しと、売上拡大に繋げる重点課題の抽出

まずは売り場の現状を写真で確認した。中身が見えない業務用冷蔵庫のため，どこにどの商品があるのかを示す必要があるが，相談者が自作したPOP(ポップ)ではわかりにくく，改善の余地があった。次に現場を訪問した。事務所兼店舗は開けた土地にあるものの，一見すると精肉を販売している店舗であることがわかりにくく，目立たせるための工夫が不足していた。また，売り場内には掲示物が多く雑然としており，POP周辺も見直す必要があった。これらの課題を解決することが，売上拡大につながると判断した。

▲AIを活用したスマート畜産に取り組む牛づくり

3 対応　相談者と共にデザインする「和牛の道の駅」という場所

相談者がデザインソフトを扱えたため，POPデザインのコツや具体的なテクニックのアドバイス，参考資料の紹介などを行い，デザインの改善を図った。その結果，デザインルールに基づいた，一定のクオリティを保ったPOPが完成した。売り場内は，販売促進の妨げとなる情報を少なくすることでPOPの訴求力を高めるため，相談者に納得してもらいながら，掲示物を減らしていった。また，屋号(福永畜産)では畜産業の印象が強いため，相談者とともに，「地元で和牛を購入できる場所」であることを伝える「和牛の道の駅」というキャッチコピーを考案した。このキャッチコピーを使ったのぼり旗を相談者がデザインし，インスタグラムにも文言を取り入れた。開けた土地にあるこの建物は何なのかを伝えることに重点を置き，新たな顧客獲得も狙った。

▲デザインリニューアルした陳列時点POP

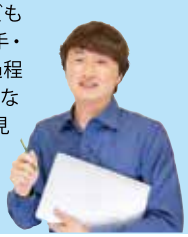
4 成果　地元の和牛が買える、気になる場所「和牛の道の駅」へ

キャッチコピー「和牛の道の駅」を打ち出したのぼり旗により、新たな客層を獲得。事務所兼店舗の再認知と周知を意識した結果、「のぼり旗が気になって来店した」「初めて来た」など、お客様からの声があった。のぼり旗を設置後、１カ月で来店客数は前月比131%増となり、売上が拡大した。また、POPのデザイン改善や売り場の見直しは、お客様のスムーズな商品選びに役立ち、事務所兼店舗の精肉販売部門の賑わいが増している。

▲事務所兼店舗外に新規設置されたのぼり旗

支援のポイント

相談者は事務業務の他に、デザインやPR業務なども行っていた。CO（コーディネーター）は、良き聞き手・良き理解者・メンターの立場に徹し、提案に至る過程では、相談者と共に考える共創型で自発性を大切にした。具体的な制作物では、良質な「参考資料」「やり方」の選定がCOの腕の見せ所であった。課題に対し、まずは自分なりにやってみる姿勢から、自走性も高いと判断。副次的に相談者の能力向上も支援した。



相談者の声

初回の相談から「さつま福永牛はもっと売り出せる」との、COの情熱的な激励に感銘。この人と一緒に福永畜産をPRしたいと強く思いました。商品は好評でも、こだわりや差別化のためのPRが不十分…。提案されたキャッチコピー、のぼり旗の効果は絶大でした。限界を感じていたPRも、COとの出会いで新たな希望が湧きました。

Instagram　Facebook　LINE

TEL / 099-219-3740
https://yorozu-kagoshima.go.jp/
カゴよろ

プロフェッショナル人材戦略拠点

人材不足の今、企業の頼もしい味方

◇プロ人材　４５３件（うち副業・兼業36件）の成約 ！

県内企業の成長発展を人材面からサポート。お気軽にご相談ください。

皆様、プロ人材確保でお困りではありませんか？

- ☑ 会社を成長させる人材が欲しい
- ☑ 新たな事業を展開できる人材が欲しい
- ☑ マーケティングができる人材が欲しい
- ☑ 自社産品をＰＲ・ブランディングしてくれる人材が欲しい
- ☑ 経営を補佐する次世代人材が欲しい、等々・・・

当拠点では、県内企業の皆様に対し、経営や専門、即戦力等に即応できる人材の採用・獲得に向け、マッチングをサポートしています（登録人材紹介事業者は20社以上！）。副業・兼業人材の活用促進も始めており、LION㈱、AOI TYO Holdings㈱等、大企業の多彩・有能な社員の方々の副業促進にも共働して取り組んでいます。

副業・兼業人材活用は、皆様にとって① 問題解決の即戦力、② 低コスト、短期間活用が可能、③ 既存社員の意欲・スキルの向上など多くのメリットがあります！！ 特に、経営上様々なデジタル化の推進が待ったなしの状況である中、その対応策の一つとして副業・兼業人材の活用は有効な手段です。

当拠点では、平成28年１月の開設以来、453件（人）（うち副業・兼業人材36件）のプロ人材の採用成約を実現！（令和５年10月末現在）。

活用分野は、経営管理、販路・事業分野拡大、生産性向上、研究開発など多様。

プロ人材の採用や副業・兼業人材の活用マッチングをサポートしている当拠点に、気軽にご相談ください。

☛　０９９－２１９－９２７７

◇「副業・兼業プロ人材活用セミナー・相談会」を開催します!!

来る11月27日（月）、鹿児島市内で「セミナー・相談会」を開催します。

午前中は、既に副業･兼業のプロ人材を採用･活用されている窪田織物㈱の松元 雄介氏、㈱クロスメディアの盛満 公平氏、㈱太の中島 常夫氏、若潮酒造㈱の上村 曜介氏、Webで㈱オキスの岡本 雄喜氏を迎えてのトークセッションを開催し、副業・兼業人材のメリットや活用ポイント等についての率直な御発言をいただきます。Webでも公開します。

午後からは、副業・兼業人材を希望される企業と人材紹介事業者との相談会を実施します。

※参加・視聴を希望される方は、プロ人材拠点ＨＰ（ＱＲコード）をご覧ください。

「プロフェッショナル人材戦略拠点」

人材戦略マネージャー	木場	信人
サブマネージャー	本	一郎
人材活用支援専門員	野元	慶一
人材活用支援専門員	有村	吉弘
人材活用支援専門員	塩屋	文和

◇（公財）かごしま産業支援センター
鹿児島県プロフェッショナル人材戦略拠点
ＴＥＬ：099-219-9277　ＦＡＸ：099-219-1279
E-mail：projinzai@kisc.or.jp
ＵＲＬ：https://www.kagopro.jp/

◇◆◇　取引振興コーナー　◇◆◇

取引振興課では、展示会での県内企業 PR、取引商談会の開催、発注ニーズをもつ企業からの依頼等により、受発注企業の取引あっせんを行っています。

取引あっせんの実施状況と効果

取引あっせんの仕組み

各企業の希望に応じた紹介･あっせんを円滑に行うために、当センターへの企業登録をお願いします。

※センター登録、取引のあっせんはすべて無料です。

❶ 取引あっせん申込み → ❷ 相手企業の選定 → ❸ 相手企業の紹介・あっせん

◎イメージ：ハローワークの企業版

☑仕事を発注したい
☑仕事を受注したい

かごしま産業支援センター
取引振興課

◎イメージ：お見合い

お見合い
コーディネーター

対応できそうな企業を，
「約 900 社の企業データ」
「職員の蓄積データ」
をもとに〝ピンポイント〟
でご紹介！

※　各都道府県支援機関との連携による「広域的なあっせん」も行います。

【令和２年度取引あっせん案件
～１年後も約７割が取引継続、取引金額は当初の約３倍強に！】

Ｒ２年度は**202件**の取引あっせんを行い、**66件、35,910千円**の取引が成立しました。１年後の状況を調査したところ、取引が継続しているものは**47件**、47件の金額は当初の**約３倍強**に拡大していることがわかりました。

令和５年度　かごしま取引商談会開催のご案内

県外の発注企業等を招へいし、県内受注企業と商談を行っていただく「かごしま取引商談会」を開催します。

商談会の詳細や参加申込み方法については、今後、当センターのホームページに掲載しますので、新規取引先の開拓にこの機会をご活用ください。

日　時　　令和６年２月７日（水）
会　場　　鹿児島サンロイヤルホテル

【お問い合わせ先】（公財）かごしま産業支援センター　取引振興課　TEL：099-219-1274

わが社の輝く女性！

今号でご紹介するのは、神奈川県の本社工場と樋脇工場で半導体製造装置、真空装置、測定機器、航空宇宙関連装置などの精密機械部品加工を行っている株式会社中川製作所で、品質管理係長として活躍されている田畑さとみさんです。

株式会社 中川製作所 樋脇工場

所 在 地：薩摩川内市樋脇町塔之原10414
設　　立：1971年9月
従業員数：66名
事業内容：半導体製造装置関連・真空装置関連・測定装置関連・光学計測関連・航空宇宙関係の装置・部品加工
ＴＥＬ：0996-38-2570
ＦＡＸ：0996-38-2550
ＵＲＬ：http://www.nakagawa-ss.co.jp
Ｅ-mail：kagoshima@nakagawa-ss.co.jp

田畑 さとみ さん

品質管理部　係長

・牡羊座
・川内商工高等学校卒
・入社15年目

趣味：映画鑑賞、食べ歩き、旅行

◇会社紹介

神奈川県大和市に本社工場、鹿児島県薩摩川内市に樋脇工場と２拠点で活動しており、あらゆるハイテク関連分野でマシニングセンタを用いて非鉄金属の精密切削加工部品の提供を行っています。

両拠点共に24時間工場稼働をしており、良い物をより早く提供できるように努めています。

薩摩川内市の樋脇工場

◇会社での現在の担当部署は

品質管理部で責任者として業務を行っています。

主な業務内容は、加工部品の検査及び部門運営です。

また、品質保証業務も兼務しており、各御客様からの品質関連に関する問い合わせにも対応しています。

◇入社のきっかけは

学生時代、通学途中に工場がありました。

田んぼに囲まれた工場内からは機械の音が聞こえており、何を作っているのか気になっていました。

そんな時に会社説明会で初めて当社のことを知り、【精密切削加工部品】という、今まで聞いたことも見たこともないものに触れ、興味を持ちました。

また、社内環境もよく、従業員の声を大切にしている当社の姿勢や志にも魅力を感じ、地元企業に貢献したいという気持ちもありましたので志望しました。

◇仕事上での印象深い体験談など

入社して３か月たった頃の失敗談になりますが、鉄製品を水で洗浄しました。

数日後に製品がすごく錆びていて（笑）苦い思い出です。

現在は樋脇工場で女性初の役職者となり、品質管理部の係長として日々業務に励んでいます。

女性目線での立案を多く発信し、多くの提案を採用されました。

女性従業員も活躍できる職場環境へ改善できたことも嬉しく思っています。

◇ものづくりに対する思いや心がけていることは

精密部品は、測れることは作れると言われているので、製造部門からの依頼は責任を持って測定します。

そして、どんな製品も中川品質の製品をお届けしたいと思っています。

◇会社への思いや抱負について

高校卒業後、右も左もわからない私に丁寧に教えてくださった先輩の教えを忘れずに、これからは後輩への教育はもちろんのこと、従業員の意見や外部の情報を取り入れ、広い視野で物事を考え、新たな試みで会社へ貢献できればと考えています。

【2002年４月KISC会員加入】

応援します！中小企業の経営革新！
～経営者のための経営革新支援制度活用術～

■ 当センター及び県では、事業者が新たな事業活動を通じて経営の向上を図る取組を支援しています。
■ このシリーズでは、「中小企業等経営強化法」に基づく経営革新計画を作成、県の承認を受けて支援策を活用し、新事業に取り組んでいる事例を紹介します。

代表取締役　津曲　浩史　氏

株式会社　津曲商店

＜企業概要＞
所 在 地：鹿児島市城南町37
（鹿児島市中央卸売市場魚類市場内）
設　　立：平成28年
資 本 金：5,000千円
従業員数：13名
業　　種：生鮮魚介卸売業・加工業
Ｔ Ｅ Ｌ：099-227-1118
Ｈ　　Ｐ：https://www.tsumagarishoten.co.jp/

Q. 企業概要・沿革について教えてください。

当社は、江戸末期に薩摩の島津藩主御用達の魚屋として始まり、以来約150年続いている生鮮魚の卸売業者です。私は、理工学部を卒業後、当時勤めていた電子機器メーカーを退職し、一念発起して、29歳の時に鹿児島に戻り、事業を承継した７代目です。

入社後、父（４代目）から競りで魚の目利きを学びました。「食のプロフェッショナル」御用達の魚商としての責任と「厳しい目と舌を持つ食のプロ達を唸らせたい」という思いから、毎朝競り場に立ち続けております。

【経営革新計画のテーマ】
ＥＣ事業と一般消費者向け新商品の開発に伴う
Ｂ to Ｃへの本格進出及び海外展開

Q. 経営革新計画に取り組むきっかけとその内容を教えてください。

令和２年６月に卸売市場法が改正され、卸売業者による小売販売が可能となりました。コロナ禍の中で、卸売業は先行きが見通せない状況となり、事業の幅を広げていかなければ企業の成長は見込めないと考え、新たな取り組みとして、一般消費者向け小売業（BtoC）への本格進出と海外展開を柱とする経営革新計画を作成し、令和３年４月に承認を受けました。

具体的には、一般消費者向けのＥＣサイトの立ち上げ、忙しい子育て世代をターゲットとした「温めるだけ」「揚げるだけ」といった商品の開発、海外への輸出販売の強化に取り組んでいます。海外では、マカオでの本マグロの解体･販売イベントや、香港、シンガポール、マレーシアの商談会等でＰＲを行っています。

当社の強みは、食のプロに認められてきた150年の歴史で、県内外のスーパーや外食チェーン等約500社と取引を行っております。また、特許を取得している独自の急速冷凍技術により、鮮魚の鮮度を落とすことなく、市場内で加工・急速冷凍し、全国に出荷が可能です。解凍時にドリップ（旨味成分）がほとんど出ず、鮮度の良さ、旨さが取引先から高く評価されています。

Q. 経営革新計画承認で活用した制度はありますか。

当社は、経営革新支援事業費補助金を活用して、まず令和３年度に一般消費者向けの EC サイトを構築しました。令和４年度は、調理研究家であるインフルエンサーに依頼し、当社の魚を使用した簡単で本格的な「お魚レシピ」の開発や動画作成を行い、インスタグラムや当社ＥＣサイト上でＰＲしました。

その結果、EC サイトの売上が倍増するなど、大きな成果がありました。今後も EC サイト販売を強化し、「EC サイトで年商１億円」を目指します。

Q. 今後の取組について教えてください。

日本の人口減少により、既存の市場は縮小傾向にありますが、今後もブルーオーシャンを狙って新たな販路開拓を加速していきたいと考えています。

現在、県の「かごしま経営革新推進企業伴走支援事業」を活用し、経営革新を推進するために解決すべき経営課題を整理し、解決に向けて取り組んでいるところです。経営革新計画を実現して更に企業規模を拡大させ、将来は「売上高10億円」を目標に掲げています。

今後も、鹿児島のうまい魚を全国、世界のお客様に届け、経営理念である「食を通じて、幸せと健康をもたらす」の実現に努めてまいります。

マカオでの本マグロの解体ショーの様子

■経営革新計画■

新商品の開発･生産、新サービスの提供など新たな事業活動を通じて、経営の向上を図ること（経営革新）に積極的に取り組む中小企業を支援しています。

【承認基準】 ①新商品の開発又は生産、新役務の開発又は提供など新たな取組であること。
②付加価値額と給与支給総額の数値目標が次のとおりであること。

経営指標　＼　事業期間	３年	４年	５年
付加価値額（営業利益＋人件費＋減価償却費）	９%以上	12%以上	15%以上
給与支給総額（役員報酬＋給料＋賃金＋賞与＋各種手当）	4.5%以上	6.0%以上	7.5%以上

※法改正に伴い、令和３年８月２日より、経営革新計画の対象者等が変更になりました。
対象者：中小企業者→特定事業者へ（各業種毎の従業員数範囲の拡大及び資本金要件の撤廃）

※詳細は、県ホームページでご確認ください。
https://www.pref.kagoshima.jp/af02/keieikakushin/shienseido.html

【支援策の内容】 ①日本政策金融公庫による低利融資　②信用保証の特例　③県補助金　など

【問合せ先】 鹿児島県中小企業支援課　中小企業支援係
TEL：099-286-2944（直通）、FAX：099-286-5576、E-mail：shien@pref.kagoshima.lg.jp

経営革新計画承認手続きのフロー

県庁中小企業支援課への問合せ･相談

対象者の要件、経営革新計画の内容、申請手続・窓口、支援措置の内容等ご相談ください。

【経営革新計画の申請・相談窓口】
県庁中小企業支援課中小企業支援係
ＴＥＬ：０９９－２８６－２９４４
ＦＡＸ：０９９－２８６－５５７６
E-mail　shien@pref.kagoshima.lg.jp

かごしま産業支援センター、各商工会議所・商工会等でも相談を受け付けています。

経営革新計画の作成に当たっては
・現在の事業内容
・新しい取組の内容
・既存事業との違い
・経営の向上を示す指標（付加価値、給与支給総額）の伸び
・実施計画や希望する支援策などを整理する必要があります。

支援措置に関する支援機関への事前相談及び事業実施に必要な要件等の充足

・　計画の承認は支援措置を保証するものではありませんので、県への相談と併せて該当する支援機関にも事前に、相談してください。
・　事業実施に必要な要件の充足のため、各種営業許可や各種規制等への条件整備等について、該当する行政機関等に事前に相談してください。

必要書類の作成,準備

申請書は県庁中小企業支援課に用意しています。また、県のホームページからもダウンロードできます。
○https://www.pref.kagoshima.jp/af02/keieikakushin/shienseido.html
○「鹿児島県　経営革新」で検索

県及びかごしま産業支援センター、各商工会議所・商工会等では、ビジネスプランの策定の仕方、申請書の書き方等をアドバイスしています。

申請書の提出

申請書の提出先は県庁中小企業支援課（本社所在地が鹿児島県内の場合）です。
申請書提出先は申請代表者・実施主体者の構成によって異なります。

申請に必要な書類は
①経営革新計画承認申請書
　・様式第13
　・別表１～７
②補助様式１～３
③定款
④直近三期間の決算書
⑤残高試算表
⑥直近二期間の法人税確定申告書及び附属明細書
⑦県税に係る納税証明書
⑧その他参考資料
　（営業許可証等の写し、パンフレット、図面、見積書など当該計画に関するもの）

経営革新計画の承認

申請受付後、経営革新計画の内容等について審査を行った上で承認となります。
承認後、フォローアップのために計画進捗状況調査等を行いますのでご協力ください。

各種支援措置の活用等

①県補助金　②低利融資　③信用保証の特例
④海外展開に伴う資金調達の支援措置
⑤中小企業投資育成株式会社からの投資
⑥県制度資金による融資（新事業チャレンジ資金）
⑦起業支援ファンド（中小機構）からの投資　　など

各支援措置は、計画の承認とは別に、該当する支援機関の個別審査を受ける必要があります。

経営革新計画の達成

特　集

かごしま産業支援センター 令和４年度主要事業の支援事例紹介

（公財）かごしま産業支援センターでは、県内中小企業の総合的な支援機関として、新事業創出、戦略的産業振興、地域資源活用、研究開発・技術、マーケティング、情報化、人材育成等の様々な支援に積極的に取り組んでいます。

今号では、令和４年度の主要事業の支援事例をご紹介します。

◇新事業創出等支援

○専門家派遣事業

創業者や中小企業等の経営、情報化、販売、マーケティング等の様々な経営相談に対応して、センターに登録している民間の専門家を派遣し、診断助言を行いました。　**（採択５件）**

企業名：鹿児島ケース㈱
所在地：日置市吹上町与倉 4954-19
業　種：生産用機械器具製造業（精密板金加工業）

《テーマ》
ＱＣ活動の徹底的な理解と実践
※ QC は Quality Control の略

《指導風景・現場での支援の様子》

《支援内容・成果》
取組内容：①ＱＣ活動の理解と推進
②ＱＣ活動を通して不具合率数値データを分析し、要因を解析する。
③要因にアプローチし、不具合率を低下させる取り組みを実施し、目標値まで削減する。
具体的な成果：社外不具合（クレーム）率は36％低減、社内不適合率は30％低減し、**不具合率**と**不良再製作率**の改善により**生産性向上**を図ることができた。
各工程リーダーのみならず、メンバー全員が参加したことで、ＱＣ活動の考え方・手法の理解が社内全体に浸透、意識改革に大きくつながった。

○新産業創出ネットワーク事業（研究開発支援）

新事業進出のために実施する新技術や新製品の研究開発を行う鹿児島県内の中小企業者等に対し、研究経費の一部を補助しました。　**（採択５件）**

企業名：㈲工房Ryo
所在地：鹿児島市東開町5-39
業　種：その他の製造業

《テーマ》
介護ロボット（移乗機器）の幅をコンパクトにする開発

《開発した移乗装置》

《展示会への出展状況》

《支援内容・成果》
「車椅子から便座」等へ乗り移る動作を補助する装置（移乗装置）について、車椅子への利便性をより高めた装置開発を支援しました。
製品強度を保ちつつ、装置の幅を車椅子の足載せ台（フットレスト）以下の幅へとコンパクト化することで使用者の乗り降りが容易となり、介護者の負担が軽減されました。
今後、コスト削減と実証実験による改良を重ねて本格的な販売を目指しています。

企業名：小正醸造㈱
所在地：日置市日吉町日置3309
業　種：飲料･たばこ･飼料製造業

《テーマ》
ノンアルコール芋焼酎が血糖値および人体に及ぼす影響

《小ロットの蒸留試験と試作品》

《支援内容・成果》
自社で製造販売しているノンアルコール芋焼酎について、既存ユーザーへの新たな付加価値の提供や他のノンアルコール飲料との差別化を目的とした研究開発を支援しました。
鹿児島大学医学部との共同研究により、当該製品の機能性を検証しました。
また、既存製品の香味を検討して、芋焼酎らしさの改善を図りました。
今後も味わい（苦味・渋味・キレ等）の改善を進めていきます。

○新産業創出ネットワーク事業（新事業進出支援事業）

独自の技術を用いた新製品の開発や地域資源を活用した地域課題の解決に資する製品の開発等に取り組む県内の中小企業者に対し、人材育成、研究開発、販路開拓等に要する経費の一部を補助しました。

（採択16件）

企業名：九州化工㈱
所在地：鹿屋市田崎町1100
業　種：有機化学工業製品製造業

《テーマ》
半導体洗浄用の低メタルクエン酸の開発と製造

《製品サンプル》

《　結　晶　》

《支援内容・成果》
同社のクエン酸は、食品添加物として一般に使用されていますが、工業向け、特に半導体製造時の洗浄剤原料として、不純物である金属分の含量が非常に少ないクエン酸（低メタルクエン酸）を新たに開発するための試作・研究等を支援しました。
試作・研究開発を進めた結果、金属分の含有量を基準以下まで低減させることができました。
実用化のためには、製造の過程で生じる不純物を除去する必要があることから、引き続き、長期的な視点での調査・研究が必要です。

企業名：㈲エスランドル
所在地：南九州市川辺町田部田5329-2
業　種：食料品製造業

《テーマ》
自社栽培品目と地域産品を活用した健康食材の商品開発及び販路開拓

《機能性検査の状況》

《展示会への出展状況》

《支援内容・成果》
商品の付加価値向上に向けた、らっきょうのフラクタン（水溶性食物繊維）の成分分析や機能性の研究のほか、品質管理などの人材育成、新商品の展示会への出展等を支援しました。
鹿児島大学との共同研究により、研究事例の少ない「らっきょう」と「フラクタン」の機能性について専門的に分析等を行うことができ、機能性表示食品の届出に向けた取組を進めることができました。また、健康食材に特化した戦略で販路開拓を行うことができ、機能性の研究の取組が取引先からも評価され、新規の取引先が増加し、売上も増加しました。
さらに、人材育成で衛生教育を受けた社員が中心となり、ＨＡＣＣＰ認証を取得することができました。

○起業支援事業

鹿児島県ビジネスプランコンテストの最終審査会参加者を対象に、そのビジネスプランの事業化を推進するために必要となる費用の一部を助成しました。

（採択６件）

企業名：LINK SPIRITS㈱
所在地：鹿児島市易居町1-2 SOHO かごしま１号室
業　種：焼酎販売業

《テーマ》
焼酎の価値をエヴァンジェリスト＝伝え手が繋ぐ。個人向けのオリジナルブランド焼酎販売事業

《開発した商品　NANAIRO》
R5年度「かごしまの新特産品コンクール」で県特産品協会理事長賞を受賞

《支援内容・成果》
同社は、プライベートブランド焼酎の販売と個人向けコミュニティー型 EC の展開に取り組んでいます。今回、コナイシン芋を原料としたオリジナルブランド焼酎の開発に向けた市場調査やロゴ等の作成、Web サイトの作成等に対する支援を行いました。
都市圏での嗜好の調査などで味とブランドが確立し、Web サイトでの情報発信により、オリジナルブランド焼酎の販売につなげることができました。また、代表者自らエヴァンジェリスト（伝え手）として焼酎の個性を買い手に伝え、独自の価値と文化が継承されていくよう事業を展開しています。

◇地域資源活用支援

○魅力ある食品開発支援事業

本県の地域資源である良質で豊富な農林水産物を活用し、機能性表示食品やハラル認証食品等に向けた付加価値の高い食品の研究開発や商品開発に要する経費の一部を助成しました。

（採択１件）

企業名：吉村醸造㈱
所在地：いちき串木野市大里 3868
業　種：食料品製造業

《テーマ》
減塩もち麦鹿児島味噌の開発

《試作した「減塩もち麦味噌」と加工品の検討》

《支援内容・成果》
減塩鹿児島味噌の製造手法を用いて、β - グルカンを豊富に含むもち麦を原料とした新しい魅力ある商品の開発を支援しました。塩分を通常の半分以下である４％に低減した「減塩もち麦味噌」の製造技術を開発し、β - グルカン含量を自社従来品の 10 倍に高めることに成功しました。
また、マウス試験の結果から腸内細菌叢の改善に大きな効果を示すことが確認されました。
今後、自社での新しい加工商品の開発、加工商品への原料供給・販路開拓を行っていきます。

◇研究開発・技術支援

○先端技術研究開発支援事業

自社のアイデアや技術を活用し、①オンリーワンといえる革新的な新技術・新製品の研究開発、② AI・IoT やロボット等先端的な技術を活用したシステム開発等、③カーボンニュートラルの実現に向けた研究開発に要する経費の一部を助成しました。

（採択１件）

企業名：日本ガス㈱
所在地：鹿児島市中央町8-2
業　種：ガス業

《テーマ》
自動搬送ロボットを用いた栽培装置によるスプラウト省力量産の検証

《作業状況と試験販売しているブロッコリースプラウト》

《支援内容・成果》
同社のアグリ事業で展開している省スペース・省力化による「採算の取れる人工光スプラウト（新芽野菜）の量産化」に関する研究開発を支援しました。人工光プラント環境下でブロッコリー、しそ、バジル等のスプラウト栽培技術を確立し、量産時の生産性、作業の効率化を図ることが出来ました。
今回検討したスプラウトは試験販売を開始しており、今後は労働環境や季節による品質変化などのスプラウト生産における課題解決の取組みを継続していきます。

特　集

食品関連製造業「カイゼン」活動強化支援事業 支援事例紹介

■当センターでは、食品関連製造業者に対して、カイゼン活動による効率的な生産現場作りを、より一層推し進めることで、資金・人材面等の経営資源への効果等が高まり、さらなる新商品開発や販路開拓への取組などによる経営革新や経営基盤の強化につながるよう支援する事業を実施しています。
■今回は、この事業を活用しカイゼン活動に取り組んだ事例を紹介します。

事例　生産性向上による利益創出　（上園食品株式会社）

◆課　題◆　生産性向上・廃棄ロス低減・不良率低減等

1964年創業の上園食品株式会社は、九州全域の土産品店や量販店などに販路を持ち、高品質な沢庵や高菜漬を製造しています。
看板商品の「麦味噌漬」は、南国鹿児島の太陽と良質な火山灰土壌で育った大根を生漬けして熟成、秘伝の麦みそで漬け込んだもので、九州内を中心として圧倒的な知名度を誇っています。
今回、製造している商品の生産性を向上させ、安定的な製造体制と利益確保を図るため、カイゼン活動に取り組みたいとの支援要請を頂きました。

◆支　援◆　徹底的なムダの改善と、数値管理による意識改革と改善の進め方習得

1．生産性向上
・カイゼン前…作業人員の配置バランスが悪く取り置きのムダや、人手作業が多く作業者の負担が大きかった。また、設備配置が悪く歩行・運搬・動作のムダ等が多い状況であった。
・対応策　…作業方法見直しによる取り置きのムダ改善、最適な人員配置・設備配置の変更により歩行・運搬・動作のロスを改善した。
【成　果】　**・生産性が40%アップし、労務費・経費の削減（年間1,800万円の利益改善）が図れた。改善で得た利益額で、自動バンド機・スライサー等を導入し、更なる生産性向上に努めた。**
・改善手法を習得したことで、従業員の意識改革が進み、積極的に提案が出るようになった。

2．廃棄ロス低減・再加工ロス低減
・カイゼン前…廃棄・再加工の損失金額などの「見える化」が行われていなかった。このため、廃棄等が発生することは仕方がないという風潮があり、原因の究明ができていなかった。
・対応策　…廃棄等の発生傾向を分析し、原因究明と対策の実施及び損失金額の「見える化」を行い、従業員への意識付けを行った。また、設備の不具合箇所改善と設備の予防保全を実施した。
【成　果】　**・廃棄率が46.9%減少し、従業員の意識改革に繋がった。**
・再加工率が78.5%減少し、労務費・経費の削減（年間378万円の利益改善）が図れた。

3．多能工化
・カイゼン前…従業員一人一人のスキルを把握していなかったため、急な休みや長期休暇の対応ができていなかった。また、作業工程によっては、作業時間の手待ち等のムダが発生していた。
・対応策　…各個人のスキルマップ表を作成し、計画的にスキルアップを実施した。
【成　果】　**・各人のスキルアップが進むとともに，突然の欠員や長期休暇希望への対応が可能になった。**

上園食品株式会社
代表取締役　堂園　健二
所 在 地：霧島市隼人町真孝字松山3344-1
設　　立：1964年
従業員数：48名
事業内容：漬物の製造販売・卸
T E L：0995-42-6969
F A X：0995-43-1160
U R L：https://uezonoshokuhin.co.jp/
E-mail：info@uezonoshokuhin.com

カイゼンインストラクターから

礒脇　弘人

課題の明確化、データの「見える化」の他、改善の進め方に関するゼミに社長・常務・担当者を含め全員が積極的に取り組んだことで、生産性向上、廃棄ロス低減、再加工ロス低減など多くの改善成果が得られました。
利益が出たことで処遇改善、職場環境改善を行い雇用の安定化にも繋がりました。
コロナの影響で売上が減少しましたが、現在は売上げも回復してきており、今後も継続的な改善支援に取り組みたいと思います。

【お問い合わせ先】（公財）かごしま産業支援センター　総務情報課　TEL：099-219-1275

会員企業PRコーナー【KISC 会員限定】

事業案内、商品案内、新製品紹介等
会員企業の営業活動を支援します！

有限会社　鹿児島ますや

https://www.kurobuta-ichiban.co.jp

「自分の子どもに安心して食べさせたい」だから、どうしても「無添加」なのです。

◆最初の子どもがうまれたとき、アレルギー体質であることがわかり、その原因が、親である私たちの食生活によると分かりました。

弊社の商品は、増量剤・発色剤・結着剤・保存料、化学調味料、精製塩等、体に良くないものは一切使用しておりません。原料は、主に昔ながらの在来種に近い黒豚を使用しており、お肉に旨味があります。贈り物、ご自宅用にいかがでしょうか？無添加加工食品の技術指導、ＯＥＭもお受け致します。お気軽にお声かけ下さい。

姶良市宮島町29-3
ＴＥＬ　0995-66-4186
資本金　300万円
従業員数　16名

◆事業内容
無添加加工品（ハム・ソーセージ・惣菜等）の製造販売
黒豚肉の卸売
無添加加工食品の技術指導
無添加加工食品の OEM

【2019年７月会員加入】

株式会社　メセナ食彩センター

https://www.yuzu-mecenat.com

九州一の産地！曽於市特産「ゆず」を風味豊かに仕上げた商品を全国にお届けします。

◆曽於市特産「ゆず」の搾汁が10月後半よりいよいよ始まりました。新しい搾汁施設に生まれ変わり、フレッシュなゆず果汁や果皮を使用し、安心・安全なゆずドリンク・ドレッシング・ゆずゼリー・ゆず胡椒など約30アイテムの商品を製造しています。

インスタも開設、ホームページやＥＣサイトにも力を入れ、曽於市「ゆず」の認知度向上にも努めています。委託搾汁や小ロットよりＯＥＭ商品も製造していますので、お気軽にお問い合わせください。

曽於市末吉町二之方371-3
ＴＥＬ　0986-76-7468
ＦＡＸ　0986-76-7494
資本金　5,000万円
従業員数　17名

◆事業内容
ゆずの搾汁
（他柑橘類委託搾汁）
果汁・果皮の原料販売
ゆず加工品製造・販売
ＰＢ・ＯＥＭ製品製造

【2020年５月会員加入】

日高水産加工有限会社

https://www.hidakasuisan.co.jp/

旨み凝縮の、つけあげ・かまぼこ７種のセット！全国どこでも送料無料で￥2,850

◆お電話一本でご自宅・ご友人・お世話になったあの人この人へ、お歳暮発送いたします。コンビニで利用できる振込用紙を郵送いたしますので、お支払いも簡単です。

弊社の人気商品７種類をセットにしました。2,850円（送料・税込み）。

贈答用としてはもちろん、手軽に自宅で食べるのもお勧めです。

電話、ファクス、弊社売店、ホームページで注文を受け付けています。

詳細や他の商品はホームページへ

いちき串木野市西薩町17-14
ＴＥＬ　0996-32-9421
ＦＡＸ　0996-32-9948
資本金　1,000万円
従業員数　30名

◆事業概要
創業1948年
さつま揚げの製造販売

【2020年５月会員加入】

掲載企業募集中！　『KISC 会員限定』、掲載料無料です。お申込みは下記まで

【申込み・問い合わせ先】　（公財）かごしま産業支援センター　総務情報課

TEL：099-219-1275　FAX：099-219-1279　E-mail：info@kisc.or.jp

株式会社　横福

https://kaorinokuroninniku.jp

鹿児島県にんにくを美味しく！おしゃれに！元気と笑顔をお届けします！

◆にんにくの生産・製造・販売の６次産業に取り組んでおります。

一家に１本「薫の塩麹にんにく」はお料理を美味しく仕上げてくれる万能旨味調味料です。どんなお肉も柔らかジューシーに！にんにくの香りが食欲をそそります。

自社製品製造のほかＯＥＭや業務用でのご依頼も多数頂いております。

にんにくに関するご相談事ありましたらお気軽にお問い合わせください。

霧島市横川町中ノ3232-1
TEL･FAX　0995-56-8327
資本金　120万円
従業員数　６名

◆事業内容
農作物の生産・加工・販売

Instagram
QR コード

【2023年４月会員加入】

フードシステム　ラボラトリー

https://www.foodsystem-laboratory.com

HACCP導入や食品安全マネジメントシステムなど食品安全をトータルサポート！

◆「フードシステム ラボラトリー」は、鹿児島の食品安全コンサルタント会社です。HACCP導入、食品安全セミナー、内部監査などの小さな疑問～従業員教育までお気軽にお問い合わせください。

★フードシステムラボラトリーでJFS-B規格認証、ISO22000認証を取得しませんか？コンサルサポートのお問い合わせはホームページより無料受付中！！

★今後の食品産業では規格認証を取得する企業が増えてきます。

★HACCP導入に伴いJFS規格認証を目指しましょう！

お問い合わせはこちらの HP より

鹿児島市吉野町5799-12
ＴＥＬ　099-294-9790

◆事業概要
HACCP 導入、食品安全セミナー、内部監査、製造場内のふき取り検査、JFS-B 規格認証取得コンサル、ISO22000認証取得コンサル

【2023年４月会員加入】

株式会社　キーバインド

https://www.keybind.com

「企業と企業」「人と人」が大きな目的を持って共存共栄できる企業を目指します。

◆2002年の創業以来、金融機関（損保、銀行及び生保）のお客様を中心にシステム開発に従事しております。

社名のキーバインドは鹿児島の方言である「きばっど」を由来としています。経営理念である「共存共栄」を胸にお客様と共に繁栄していくことを目指しています。

2022年７月に鹿児島市と立地協定を締結し、９月に開設した鹿児島営業所では、自社パッケージ「SmartBind」を地域に向けた支援事業として推し進めると共に、首都圏案件の開発支援等を行っています。

KEYBiND

鹿児島市名山町9-15
markMEIZAN303
ＴＥＬ　099-248-9985
本　社　東京都豊島区高田
3-18-11-4F
資本金　1,000万円
従業員数　鹿児島営業所　６名
総従業員数　72名

◆事業内容
SE 支援業務、ソフトウェア受託開発、システム運用管理、パッケージ開発 / 販売

【2023年５月会員加入】

KISC Kagoshima Industry Support Center
11 2023 November
情報KISC 季刊誌：年4回発行 発行者：公益財団法人 かごしま産業支援センター

雇用の問題 お悩み解決のためのサポートをします！

早期退職を募らなくてはいけなくなりました。
従業員の次の就職先を見つけたい。

一時的に社員の仕事が
なくなってしまう。
そんな時どうすればいいの？

ハラスメント防止など社員教育に課題が
あり、セミナーの必要性は感じているが、
なかなか手が回らない。

採用って難しい。
一回二回の面接では判断できない。
当社に合う方を紹介してくれたら助かるのに。

他社ではどのように
取り組んでいるのか？
他社に出向してもらって、
広い視野を持ってもらい、
当社の業務改善につなげたい。

定年を迎える社員。
能力も高く経験も豊富なのに、
引退してしまうのはもったいない。
まだまだ社会に貢献できるのに。

安心のサポート

下記の都道府県事務所にお問い合わせ下さい

産業雇用安定センターとは？

1987年（昭和62年）、労働省（当時）、日経連、産業団体などが協力して、「失業なき労働移動」を支援する公的機関として設立。以来30余年にわたり、再就職・出向などによる企業間の労働移動をサポートします。

- 全国の労働局・ハローワークと連携
- 全国47都道府県に事務所を設置
- 相談・紹介・仲介・斡旋の費用は無料
- 設立以来、24万人の再就職・出向の支援実績
- 1人の求職者に一人のコンサルタントがマンツーマンでサポート

産業雇用安定センターが、詳しくわかる動画は、こちらをご覧ください。

公益財団法人
産業雇用安定センター 鹿児島事務所

〒890-0053 鹿児島市中央町26-18 南日本中央ビル４階
TEL 099-812-9551 FAX 099-258-9101【ご利用時間】9:00～17:00（土・日・祝日を除く）

www.sangyokoyo.or.jp
産業雇用 検索

ISO 審査
教育・研修

【品質】【環境】【安全】
ISO 審査

・標準文書無料提供
・内部監査員研修優遇
・県内審査員で交通費ほぼ0

地元で安心!! 審査参加者も募集中!! ISO 審査代理店

南日本審査株式会社
〒899-5431 鹿児島県姶良市西餅田 3344-2
TEL：0995-64-5727 FAX：0995-64-5078
URL：//www.minami-sinsa.com お気軽にご相談ください

公益財団法人 Kagoshima Industry Support Center
かごしま産業支援センター

〒892-0821
鹿児島市名山町9番1号（県産業会館2F）
TEL（099）219−1270
FAX（099）219−1279
E-mail:kisc@kisc.or.jp https://www.kisc.or.jp